

10 月度日本ゴルフサミット会議運営会議 議事要旨

開催日 2019 年 10 月 16 日 (水)

場 所 日本ゴルフ協会 会議室

出 席 日本ゴルフコース設計者協会 (JSGCA) ・ 全国ゴルフ場関連事業協会 (JGIA)
日本ゴルフ用品協会 (JGGA) ・ 日本ゴルフ協会 (JGA) ・ 日本女子プロゴルフ協会 (LPGA)
全国ゴルフ会員権取引業団体連絡会 (JGMD) ・ 日本ゴルフジャーナリスト協会 (JGJA)
日本パブリックゴルフ協会 (JPGS) ・ 日本プロゴルフ協会 (PGA) ・ 日本ゴルフ場経営者協会 (NGK)
日本芝草研究開発機構 (TOJ) ・ 日本ゴルフ場支配人会連合会 ・ 日本ゴルフツアー機構 (JGTO)
日本ゴルフ関連団体協議会 (ゴ連協) 以上 14 団体
欠 席 全日本ゴルフ練習場連盟 (JGRA) ・ 日本ゴルフトーナメント振興協会 (GTPA) 以上 2 団体

【議 事】

I. 「2019 年度第 3 回日本ゴルフサミット会議」 への上程事項

1. 2020 年ゴルフ新年会 新春特別企画

2020 年の「新春特別企画」(案) に関して検討を行い、「日本ゴルフ協会ナショナルチーム ヘッドコーチ ガレス・ジョーンズ氏」に講演を依頼する案を承認した。

運営委員より、本講演によってガレス氏に訴求して頂きたいとして出された主な事項は下記の通りであった。

- *ガレス氏のコーチング理論と目指すところ。
- *世界で活躍出来る選手の要素。(身体能力・技術面・精神面)
- *選手強化がおよぼすゴルフ普及への影響。(オーストラリアでは、日本では)
- *コーチとして、あるいは、コーチング時の心掛け

以上の要望等を含めたインタビュー形式の講演とし、表題及び概略の講演内容を代表幹事と塩田委員とで作成してガレス氏に依頼することとした。

また、「講演料」については、慣例として外部講師に依頼した時に支払っていた「30 万円」で依頼することとした。(交通費・宿泊代等は、JGA 負担)

2. 「2019 年度第 3 回日本ゴルフサミット会議」 に向けて

(1) 「女性ゴルファーの創造 (開拓)」 等について

- ① 「スポーツ団体ガバナンスコード」・・・各団体において検討する。
- ② 「運営会議からの答申案」 について

ア. 「ゴルフ普及」の基本的考え方

スポーツを実施する人の割合は増加傾向にあるが、最大の「スポーツ実施の阻害要因」は「仕事や家事が忙しい」となっている。これは、「ゴルフ普及」の最大障壁であるため、「ゴルフ」にとって大きな障害要因である。

よって、「9 ホールプレーの普及」(USGA 施策「9 Great Reasons to PLAY 9 (PLAY9GOLF)」等を参考)、「18 ホールスループレーの普及」、「プライベートコンペの順位決定を前半の 9 ホールスコアにする」等々の施策を収集し、ゴルフ場並びにゴルファーに周知する。

イ. 「女性ゴルファーの創造 (開拓)」のターゲット層を「40 歳代」に絞り込む。

各団体において、ターゲット層に対して施策検討を行うこととした。尚、PGA では一般女性による「女性分科会」を設置して 11 月のサミット会議において発表することを目指して施策立案に取り組んでいる旨の報告と、発表要請があった。

ウ. 「女性ゴルファー創造」を共通テーマとしたことを広くアピールする

*世界共通の「ピンクリボン月間」(毎年 10 月) への参画を各団体の構成員に呼び掛ける。

尚、「ピンクリボン運動」には、様々な運動主体と活動があり、乳がん検診を促進するための寄附金を募集する団体や「乳がん自己チェッククラブ」を配布するための呼び掛けを行う団体等様々であり、どのような活動内容とするかは参画企業(者)の選択とする。

*ドライバーディスタンスと 18 ホールトータルヤードエージの適正化に向けた啓発活動の展開。

USGA の数値を使用する。(ワールドハンディキャップシステム (WHS) への統一が進められようとしている現在、独自ではなく USGA の数値を使用することが妥当)

エ. 「女性に優しい設備や施策に関する調査」の実施

女性ゴルファーに対しての特異な事例等を収集し、ゴルフ業界並びにゴルフ市場に対して情報発信。ポイントは、多様性。

(2) 「ゴルフ界も廃プラ削減に取り組もう！」

「廃プラ削減」に向けた検討を行い、11月の日本ゴルフサミット会議に報告・提案することとなっている

3. 「2020年度第1回日本ゴルフサミット会議」に向けて

(1) 「日本ゴルフサミット会議 2020年度活動方針」の審議

2020年度の活動方針について審議した結果、2019年度第2回会議において提案された「廃プラ削減に向けた取組」を加える。その他の新たな活動テーマは設けず、2019年度の活動方針を継続することとした。

尚、「ゴルフ場利用税問題」については、活動体制と要望事項の変更（撤廃を最終目標とした上での非課税対象年齢の拡大）もあったため、次年度以降の活動については意見調整が必要。

【参考】 2019年度活動方針について

1. ゴルフの活性化をはかる

(1) 「統一テーマによるゴルフ活性化への取組み（4課題）」の具体化と展開

①ゴルフ振興の中期目標：20歳代後半から30歳代前半のゴルフ実施率を10%に引き上げる。

②選手強化

③女性ゴルファーの創造（開拓）

④イメージアップ

(2) 団体の活動目的に即した「ゴルフ活性化活動」

2. ゴルフ場利用税廃止を求める運動

3. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除

4. 暴力団等反社会的勢力の排除

(2) 「2020年度日本ゴルフサミット会議収支予算・「2020年度ゴルフ新年会収支予算」について

11月度運営会議にて審議し、「2019年度第3回日本ゴルフサミット会議」に上程する。

II. 日本ゴルフサミット会議の日程

2019年度第3回日本ゴルフサミット会議 2019年11月25日（月）13時30分～15時30分

会場：AP東京八重洲通り会議室 12階Gルーム

2020年度第1回日本ゴルフサミット会議 2020年1月22日（水）9時30分～10時45分

*2021年以降は、第3水曜日を固定化して実施することを確認した。

*神田事務局長から、「ANAホテル」より第3水曜日の日程が確保できないとの連絡があったために第4水曜日となってしまった旨の説明があった。そのため、2021年以降に同様な事態が生じないように「ANAホテル」に申し入れを行うこととした。尚、今後、同様の事態が生じる場合もある事を想定し、他ホテルの見積等も入手しておくこととした。

III. 次回運営会議

2019年11月18日（月） 15時30分～17時30分 （於）JGA会議室

2019年12月16日（月） 16時30分～18時 （於）JGA会議室（会議終了後、懇親会）

IV. その他

* 「2019 ジャパンターフショー」開催について

「全国ゴルフ場関連事業協会（JGIA）」から、「2019 ジャパンターフショー」開催案内が配布された。

開催期日：2019年11月7日（木）～8日（金）

開催会場：フクダ電子アリーナ

* 「2020年度スポーツ庁長官杯」開催月の変更について

「日本ゴルフ協会（JGA）」から、「日本パブリックゴルフ協会（JPGS）」と共催した「2019年スポーツ庁長官杯」は猛暑の影響により参加者約1,500名で終了した。したがって、参加者の増加を目指して、2020年度以降は開催月を9月する旨の報告があった。

以上